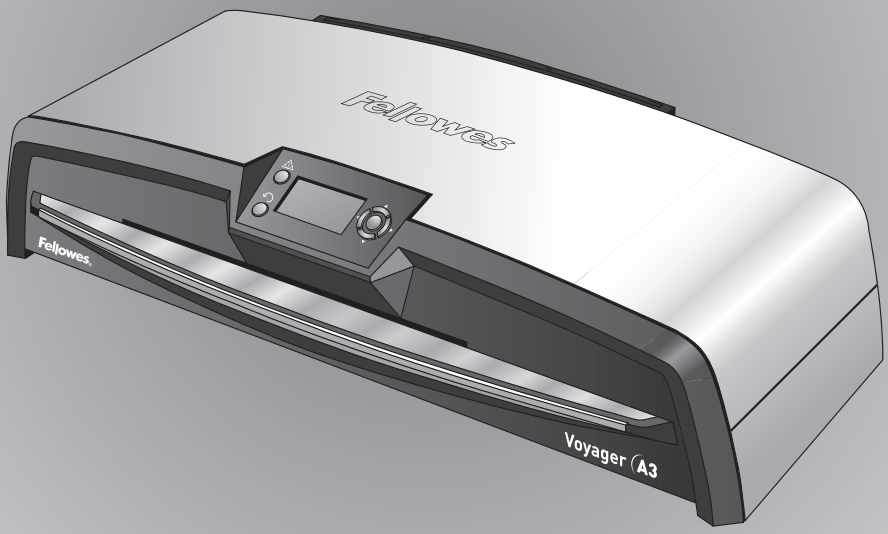
フェローズ ラミネーター

Voyager A3



取扱説明書・保証書

フェローズ ジャパン株式会社
〒141-0031
東京都品川区西五反田4-32-1
東京日産西五反田ビル2号館7F
Phone. 03-5496-2401（代）

fellowes.co.jp

目　次

目次 1

使用上の注意 2

はじめに 4

本機の特長 4

内容物の確認 5

ラミネートの前に… 6

ラミネート作業上の注意 6

ラミネートフィルムについて 7

各部の名称と働き 8

液晶ディスプレイの表示と機能 9

ご使用方法 11

フィルムが詰まったら 15

お手入れの方法 18

こんな時は… 19

製品仕様 21

保証書 23

使用上の注意

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

安全にご利用いただくために、下記の注意事項を必ずお守りください。

警　告

お子様だけでの使用、幼児の手の届くところでの作業はしないでください。
※怪我、感電の恐れがあります。

マシン本体の上面及びラミネート直後のフィルムは、高温になっていますので十分に注意してください。
※高温のためやけどをする恐れがあります。

ネクタイ・ネックレス・髪などを引き込まれないようにしてください。怪我をする原因になる恐れがあります。もし引き込まれた時は、ただちにリバースボタンを押してください。

濡れた手で電源プラグを扱わないでください。
※感電の恐れがあります。

電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。
また、コードの上に重いものをのせたりしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

ご自分で分解、改造、修理をしないでください。
※感電や思わぬ怪我をする恐れがあります。

電源コードを高温の表面に接触させないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

万一、煙が出たり、変な臭いがするなど、異常な状態になりましたら、使用を中止して、電源プラグを抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

注　意

このマシンは用紙・印刷物・写真専用のラミネーターです。
ラミネート以外の目的には使用しないでください。

絶対に可燃物（セロファンなど）、軟化しやすい物（塩ビ、ポリエチレンなど）など、ラミネーター専用のフィルム以外は入れないでください。
※火災の恐れがあります。

ラミネーター操作中はそばを離れないでください。

紙幣・クレジットカード・金属・ビニール製品・布・木片などは、絶対にラミネートしないでください。

本機の上にものを載せたり、腰掛けたり、乗ったりしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

このマシンは必ず平らなところに設置し、マシンの後ろ側からラミネートしたものを取り出せるスペースを取ってください。

マシンや電源コード、コンセントなどに水がかからないように十分に注意してください。
※火災、感電の恐れがあります。

冷暖房機のそば、水のそば、高温多湿な場所、ほこりの多い場所で使用しないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

通常の操作以外に本機を清掃したり持ち運んだりする際には、必ず電源スイッチをオフにし、プラグを抜いてください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。
※火災、感電の恐れがあります。

電源コードを棚の上などから下げたままにしないでください。
※怪我の原因となる恐れがあります。

電源コードは伸ばして使ってください。束ねたままで使うと加熱の原因になります。

電源は必ず AC100V 電源を使用してください。また、電源プラグは壁のコンセントに直接つなぎ、延長コード等はご使用にならないでください。タコ足配線はしないでください。
※火災、感電の恐れがあります。

必ずアースリード線を接地（アース）してください。アース線は必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に接続してください。またアース接続をはずす場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてから、接続をはずしてください。

このラミネーターは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。

はじめに

このたびはフェローズラミネーター Voyager A3(ボイジャー A3) をお買い上げいただき、ありがとうございます。
Voyager A3 は、オフィスやご家庭で印刷物や写真を簡単にラミネートすることができるラミネーターです。
ご使用になる前には、必ず取扱説明書をよくお読みいただきますようお願い申しあげます。
また、本取扱説明書は必ず保管してください。

本機の特長

オートラミネート方式 (AutoLam)
ラミネートするものの厚さを検知し、最適のラミネート速度に自動調節する画期的な機能です (メインメニュー上で他の項目が 5 秒以内に設定されない場合、自動的に“AutoLam”が設定されます)。

イージーアクセス ™
上部カバーと駆動部、2 段階の開閉が可能です。フィルム詰まりの解消や、ローラーのクリーニングが容易にできます。スタートメニューから「Open」を選ぶとクーリングファンが作動し、本体が冷めるとディスプレイ表示とブザーでお知らせします。安全のため、本体が冷めないと上部カバーを開けることはできません。

ベルトドライブ式
ローラーをベルトでくるむことにより、フィルムの巻き込みを防ぎます。

ヒートガード ™
2 重断熱層構造で本体の天部に触れても熱くなく、ご使用時の不快感を大幅に低減しました。
※ラミネートした直後のフィルムは熱くなっていますので、充分ご注意ください。

オートリバース機能
ラミネートするものが厚すぎたり、フィルムがよれたりしている場合に、自動的に検知し、内部のローラーを逆回転させ、フィルムを自動的に排出します。挿入ミス、フィルム詰まりなどを未然に防ぎます。

クリーン・ミー機能
ラミネーター内部の汚れや接着剤の付着を自動的に検知し、クリーニングが必要になると液晶ディスプレイ上にメッセージを表示します。

その他
このラミネーターには可動式ガイドがついており、フィルムを挿入しやすくしています。
また、本体両側のカバー付き持ち手により容易に持ち運びができます。

内容物の確認

下記のとおり、本体および付属品があることをご確認ください。

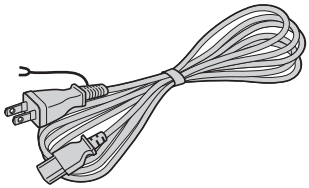
■本体

■取扱説明書（本書）

■クリーニングシート

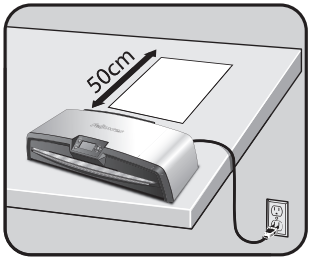
■スターターキット

■電源コード



■サポートトレイ

ラミネートの前に・・・



このラミネーターは平らな安定した場所で、電源ソケットのプラグの着脱が容易にできる場所に設置してください。
ラミネーターの後部はラミネートされたものを容易に排出できるように十分なスペース（50cm）をとって設置してください。
また、周辺には燃えやすいものを置かないでください。

ラミネート作業上の注意

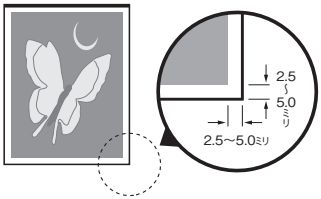
ラミネーターは操作や使用法の誤りによりラミネートに失敗したり、フィルムを巻き込んで故障する場合があります。以下に書いてある注意事項をよくお読みの上、厳守してご使用ください。

ラミネートしてはいけないもの

- **ラミネートしてはいけないもの**
  金属・ビニール製品・布・木片など、紙以外のもの
  和紙・感熱紙・クレヨン画など熱により変色変質する紙
  可燃物（セロハンなど）
  軟化しやすいもの（塩ビ、ポリエチレン製品など）
- **たった一枚しかないような大切なものをラミネートすることはお避けください。**
  万一失敗したり内部に詰まったりすると、元どおりに再生することができません。
- **資料や写真をはさまないフィルムだけのラミネートはしないでください。**
- **フィルムも含めて厚さ1.0mm より厚いものはラミネートできません。**
  無理にラミネートしようとすると本体の内部機構を傷め、ローラーやヒーターなどが破損する場合があります。厚紙をラミネートするときはあらかじめ厚みを計測してください。
- **本機は厚さ 80 ～ 250 ミクロンのラミネートフィルムに適応しています。**
  それ以外の厚さのフィルムではきれいにラミネートできません。また、故障の原因にもなります。

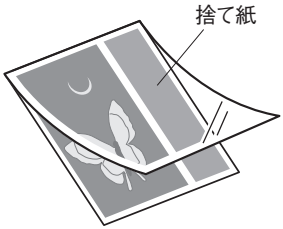
ラミネートフィルムについて

なるべくフェローズのラミネートフィルムをお使いください。フィルムの特性が合わないとフィルムにしわができたり、仕上がりが良くない場合があります。



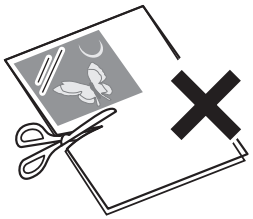
ラミネートするものより周囲が 2.5 〜 5.0mm ほど大きなフィルムを使用してください。

この幅が小さいと周囲がうまく接着されず、その部分からはがれる原因になります。
また、大きすぎると巻き込みの原因になります。



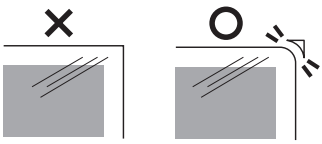
最適なフィルムがない場合は、大きめのフィルムを使用して、空白部分に捨て紙を入れてラミネートしてください。

ラミネートした後、ラミネートしたもののサイズに合わせてカットしてください。



ラミネートする前にフィルムをカットしたり、変形させたり継ぎ足したりしてお使いにならないでください。

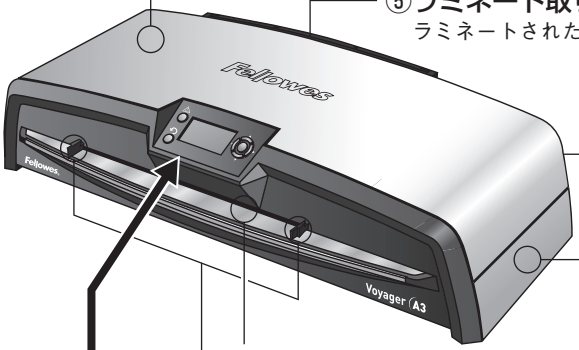
内部のローラーに巻き付いたり内部で詰まって故障の原因になります。



ラミネートした後にフィルムをカットされた場合は、コーナーを丸めてください。

とがった角で怪我をする恐れがあります。

各部の名称と働き



①上部カバー
フィルム詰まり、巻き込みを解消するために開けることができます。
※手順は 15 ページを参照してください。

⑤ラミネート取り出し口（背面）
ラミネートされたフィルムがここから出てきます。

⑥電源スイッチ（背面）
電源のオン／オフの操作を行います。

②カバー付き持ち手（左右側面）
マシンを移動したり、上部カバーを開けるときに使用します。

③ラミネートフィルム挿入口
ラミネートフィルムをここから挿入します。

④可動式ガイド
ラミネートフィルムを挿入する時のガイドです。

〈コントロールパネル〉

⑦スタンバイボタン
このボタンを押すとラミネートの設定が行えます。

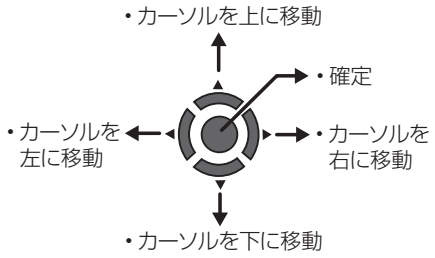
⑧液晶ディスプレイ
ラミネートの設定やウォームアップ、クールダウンなど、現在の状態を確認できます。

⑨選択ボタン（４方向ボタン）
ラミネートの設定を行なうときやメニューを切り替えるときに押します。

⑩決定ボタン
設定を確定します。

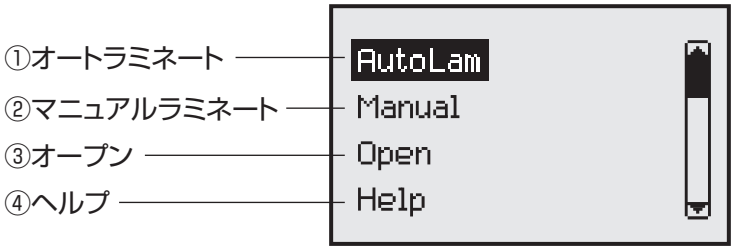
⑪リバースボタン
内部のローラーを逆回転させるボタンです。
フィルムが詰まったときは、このボタンを押します。
※スタンバイ状態の時は作動しません。

〈選択ボタン操作〉



液晶ディスプレイの表示と機能

メインメニュー



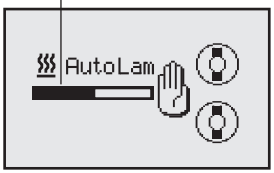
①オートラミネート
ラミネーターがラミネートするものの厚さを検知し、自動的に設定を行います。

② マニュアルラミネート
ラミネートの設定を手動で行う時に選択します。

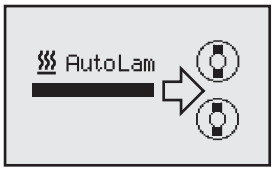
③オープン
フィルム詰まり、クリーニングなどで本体の上部カバーを開けるときに選択します。

④ヘルプ
液晶ディスプレイでラミネートの手順を確認するときに選択します。

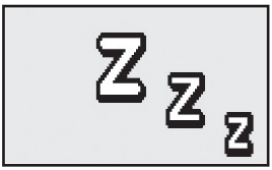
ステータスバー
このバーが右端までいくとラミネートできる状態になります。



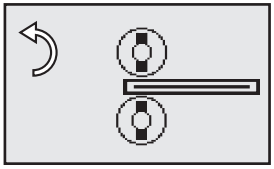
ウォームアップ
マシンのウォームアップ中は✋マークが表示されます。



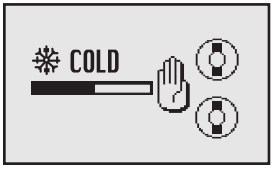
レディモード
ウォームアップが完了し、ラミネート作業が可能になると表示されます。



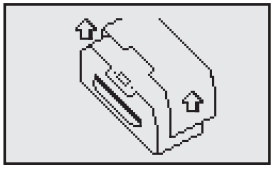
スリープ（オートパワーオフ）
30 分間操作しないと自動的にスリープモードになり、さらに 30 分経過するとヒーターの電源が切れます。



リバースモード
リバースボタンを押している間表示されます。



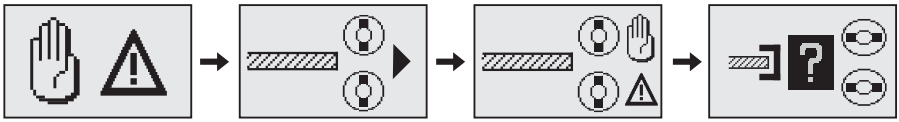
クールダウン
本体のクールダウン中表示されます。



オープン
クールダウンが終了し、上部カバーを開けられるようになるとオープンマークが表示されます。

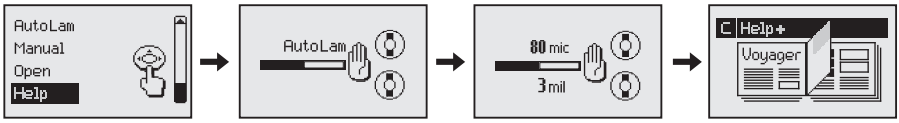
オートリバース

ラミネートするものが厚すぎたり、フィルムがよれたりしている場合に、ローラーが逆回転してフィルムを手前から排出します。



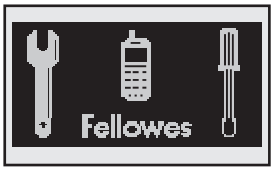
ヘルプ

ラミネートの手順をアニメーションで案内します。どれかボタンを押すとメインメニューに戻ります。



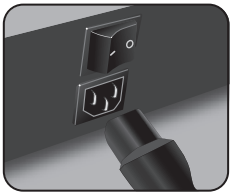
サービス

修理が必要な場合に表示されます。弊社カスタマーセンターへ連絡してください。



ご使用方法

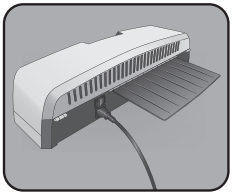
1



電源コードを取り付けます。

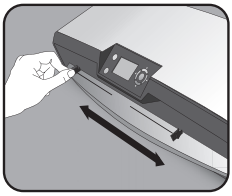
電源スイッチが○の位置にあることを確認します。電源コードを本体に取り付け、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2



本体背面にサポートトレイを取り付けます。

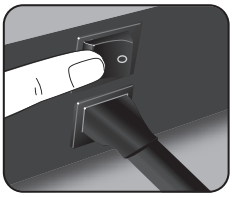
3



可動式ガイドを調節します。

可動式ガイドの幅をラミネートするもののサイズに合わせます。

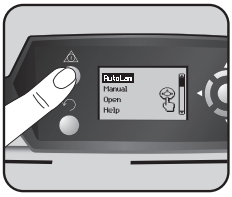
4



電源を入れます。

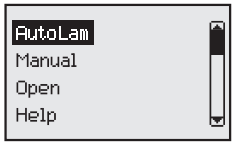
電源スイッチの I 側を押します。

5



スタンバイボタンを押します。

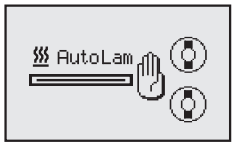
スタンバイボタンの中央のランプが点灯し、ディスプレイ上にメインメニューが表示されます。



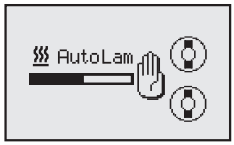
オートラミネート

ラミネートするものの厚さを検知し、自動的に最適なラミネート速度に調節されます。
（通常は「オートラミネート」でご使用ください。）

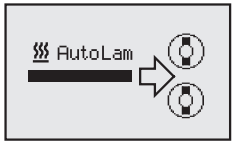
スタンバイボタンを押すと、5秒後に自動的にオートラミネートモードになります。



ブザーが鳴ってウォームアップを開始します。



ウォームアップが完了し、ラミネート可能になるとが に変わり、ブザーでお知らせします。

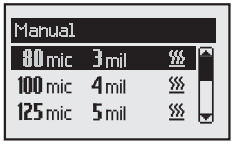


マニュアルラミネート

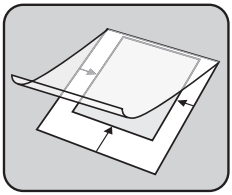
手動でラミネートの設定を行います。

スタンバイボタンを押して 5 秒以内に選択ボタンの▼を押し、「Manual」を選んだあと、決定ボタンを押します。

▲▼で、フィルムの厚さを選び、決定ボタンを押します



6

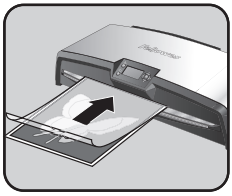


ラミネートするものをラミネートフィルムのシール部（接合部）の奥まできちんと入れて挟みます。

⚠注意

・接合部に余白があると、巻き込みなどの原因になりますので、奥まできちんと入れてください。

7



シールされた側から**挿入口に平行**に静かに差し込みます。

ラミネート作業を中止する場合は、リバースボタンを押します。ブザーがなり、手前からフィルムが排出されます。

⚠注意

・ななめに入れるとフィルムがしわになったり、途中で詰まって故障の原因になります。
・フィルムのシール部（接合部）以外のところから挿入するとフィルムがめくれて内部で詰まったり、ローラーに巻きついて故障の原因になります。

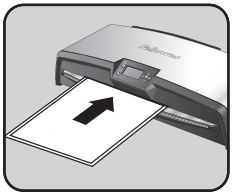
8

ラミネートが終了したフィルムを後部取り出し口より取り出し、平らな場所に置き数秒冷まします。

⚠注意

・途中で後ろから引っ張ったりしないてください。
・続けてラミネートするときは、必ず前にラミネートしたものを取り出した後、次のラミネートフィルムを入れてください。
・フィルムが熱くなっていますので十分ご注意ください。

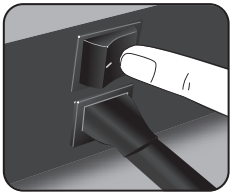
9



ローラーのクリーニングをします。

ラミネート作業が終了したら付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてローラーのクリーニングをします。（→ 18 ページ）

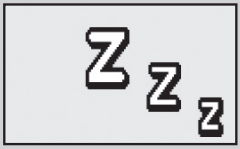
10



使用後は、スタンバイボタンを押し、その後必ず背面の電源スイッチをオフにしてください。

オートパワーオフ
（省エネモード）

電源をオンにしたまま 30 分以上使用しないでいると、スリープモードになります。この時、画面は下のような表示となります。再び使用するにはスタンバイボタンを押してください。スリープモードになってから、さらに 30 分経過するとヒーターの電源が切れます。

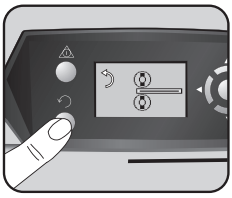


フィルムが詰まったら

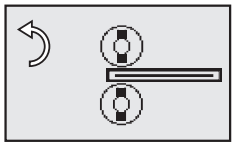
フィルムが詰まったときは、まず・・・

通常のタイミングでフィルムが排出されないなど、詰まったと思われる場合は、まずリバースボタンを押してください。ローラーが逆回転し、ラミネート中のものを手前に戻すことができます。

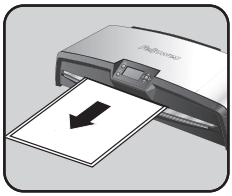
1



ただちにリバースボタンを押します。



2

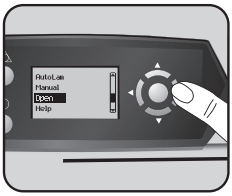


ローラーが逆転し、フィルムが手前に戻ります。

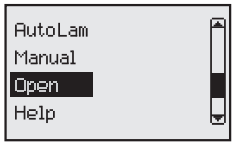
イージーアクセス ™

リバースボタンを使っても詰まったフィルムを取り除けなかった場合は、下記の手順で上部のカバーを開け、フィルムを取り除くことができます。

1

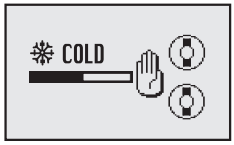


メインメニューで選択ボタンの▲▼を押して、「Open」を選び、決定ボタンを押します。



2

クーリングファンが作動し、本体内部のクールダウンを開始します。



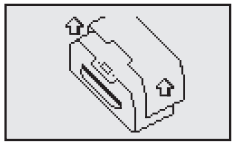
ラミネート作業直後のクールダウンには約 30 分かかります。

⚠注意

- 安全のため、本体が冷めないと上部カバーを開けることはできません。
- フィルムの詰まった状況や周囲の環境によって本体が冷めるまでの時間は異なります。

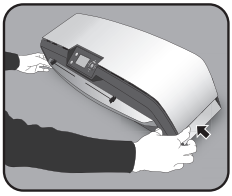
3

上部カバーが開けられるようになるとブザーが鳴り、オープンマークがディスプレイに表示されます。



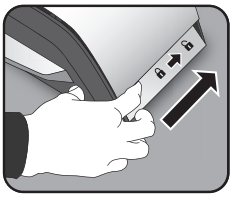
オープンマークが表示されている間、上部カバーを開けることができます。

4



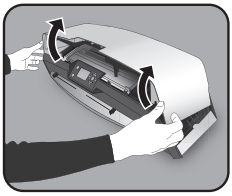
両側のカバー付き持ち手を同時に押します。

5



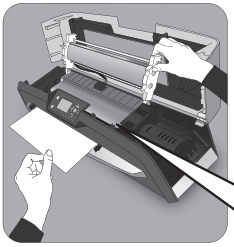
カバー付き持ち手内部にあるつまみを矢印の方向へスライドさせます。

6

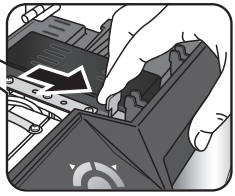


両手で上部カバーを開きます。

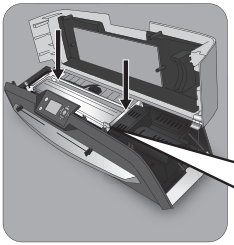
7



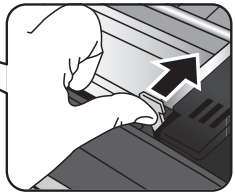
両側の開閉レバーを外し、駆動部を持ち上げて詰まったフィルムを取り除きます。



8



駆動部を元に戻し、開閉レバーをセットします。



9

上部カバーを閉じます。

⚠警告

・フィルムの詰まった状況によっては、温度が下がりにくいときがありますので、クールダウン後でも駆動部やローラーが部分的に高温になっている場合があります。開閉レバーを外す際や詰まったフィルムを取り除く際は充分ご注意ください。

※上記で取り除けない場合は弊社までご連絡ください。

お手入れの方法

本体のお手入れ

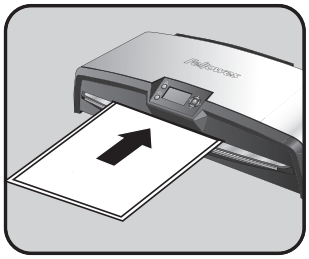
柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は水で薄めた中性洗剤を少量布につけて拭いてください。本体のお手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

⚠ 注意

● シンナー、ベンジン、クレンザーなどは変形や傷の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

ローラーのお手入れ

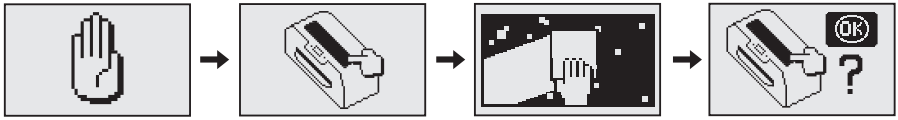
ラミネーターは1枚ラミネートするごとに、熱により溶けたフィルムの接着剤が内部のローラーに少量づつ付着して汚れてきます。毎回ラミネート作業終了後、電源を切る前に、ローラーのクリーニングをしてください。



付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を数回空通ししてください。ローラーの汚れが紙に吸着されてクリーニングされます。
ラミネート作業を開始する前にも、このクリーニングを行うと、より効果的です。

クリーン・ミー機能

ラミネーター本体内部の汚れや、フィルムの接着剤の付着を自動的に検知し、お知らせします。



上にある4つの画面が順番に表示されると、クリーニングが必要です。

⚠ 注意

● クリーニングの際に鋭く先のとがったものを使うと、破損の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

こんな時は・・・

現象	原因	対処法
電源が入らない 動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れてください。
	電源スイッチが入っていますか？	電源スイッチは、本機の背面にあります。電源スイッチのｌ側を押した後に、スタンバイボタンを押して操作を始めてください。
	オートパワーオフが働いていませんか？	本機を操作してから30分以上経過するとオートパワーオフが働き、スタンバイ状態になります。この時はスタンバイボタンを押してから操作を始めてください。
ウォームアップが 完了しない	オートパワーオフが働いていませんか？	本機を操作してから30分以上経過するとオートパワーオフが働き、スタンバイ状態になります。この時はスタンバイボタンを押してから操作を始めてください。
	クーラーの冷気が直接当たっていませんか？	クーラーの冷気から離してご使用ください。
	高温多湿な場所でラミネートしていませんか？	涼しく乾燥した場所にラミネーターを移動させてからご使用ください。
フィルムが引き込まれない	液晶ディスプレイの表示がレディモードになっていますか？	マークが表示されているときは、ラミネートの準備中です。 マークが消え、レディモードになるまでお待ちください。
仕上がったフィルムが反る	ラミネートした直後のフィルムは柔らかくなっているので反ることがあります。ラミネート取り出し口にサポートトレイを装着していますか？	ラミネート取り出し口にサポートトレイを装着すると、よりきれいに仕上がります。 また排出されたフィルムはすぐに平らな場所に移してください。

現象	原因	対処法
ラミネートフィルムの表面が汚れる	ローラーが汚れています。	付属のクリーニングシートか同程度の厚さの紙を使ってクリーニングしてください。
ラミネートフィルムがはがれる	ラミネートする紙が厚すぎます。	フィルムも含めて厚さが1.0mmより厚いものはラミネートできません。1.0mmより薄いものがうまくラミネートできない場合は、何回かラミネーターに通してください。
	紙以外の材質のものをラミネートしていませんか？	本機は紙専用のラミネーターです。プラスチック·金属·ビニール·布等はラミネートできません。
	特殊な紙をラミネートしていませんか？	紙にコーティング処理または油分が含まれている特殊紙はラミネートできません。
ラミネートフィルムが取り出し口から出てこない	フィルムがラミネーターの中に詰まっています。	ただちに、リバースボタンを押して取り出してください。それでも取り出せない場合は、上部カバーを開け、詰まったフィルムを取り除いてください。（→15ページ）
カバー付き持ち手を押し内部つまみをスライドさせても上部カバーが開かない	液晶ディスプレイにオープンマークが表示されていますか？	オープンマーク（→9ページ）が表示されていないときは上部カバーは開きません。
	クールダウンが終了していません。	本機は安全のため、本体が冷めないと上部カバーを開けることはできません。クールダウンが終了し、液晶ディスプレイの表示がオープンマークを示すまでお待ちください。

製品仕様

品名	Voyager A3 (A3)
品番	5704701
外寸法	H160×W635×D215mm
質量	10kg
挿入幅	317mm (A3)
消費電力	1000W
電流	10A
電源	AC100V 50/60Hz
ウォームアップ時間	約4分
加熱方式	外部加熱方式 (外部加熱＋ベルトドライブ)
ラミネート温度	一定 (約107℃)
ローラー本数	4本
最大ラミネート厚	1mm
適用フィルム厚	80～250ミクロン
ラミネート速度	自動調整 (200mm／分～930mm／分) 50Hz／60Hz共
保証期間	1年間

Memo